



市民センターと
連携しましょう

「地域とつながる学校支援事業」

って何？

この事業は、市民センターが学校の様々な思いを実現するために地域との連携を支援するものです。

例えば・・・

- ・ 児童会活動や生徒会活動
- ・ 放課後の余暇活動
- ・ 授業



支援の形は
様々です。

具体的
には？

こんなことができます！

01 講師派遣 出前授業

専門的な知識や技術を持つ講師を派遣したり、出前授業をしたりすることができます。

02 児童会・生徒会・ 放課後・委員会で！

成果披露の機会提供や缶バッジ製作など様々な支援の形があります。

03 資料提供

各市民センターや各サークル団体が管理している資料を提供することができます。



事例

連携事例① 学びによるまちづくり



そして



[広陵中学校×宮城西市民センター×地域施設]

・中学2年社会「地域の在り方」で観光マップを作成しました。

地図が
完成！



[吉成中学校×吉成市民センター×地域団体]

・中学2年社会「地域の在り方」で地域について自ら調べ、発表する学習をお手伝いしました。

連携事例② ボランティア



[広瀬中学校×栗生児童館]

- ・栗生児童館での夏休み中のボランティア活動への参加について、広瀬中学校に協力依頼の橋渡しを行いました。

連携事例③ 学校に対する協力活動



[桜丘小学校×水の森市民センター×地域団体]

- ・小学校3年生総合的な学習の時間「ボッチャ体験」
地域で活動するボッチャサークルに協力依頼の橋渡しを行いました。



[吉成中学校×吉成市民センター×社会福祉法人]

- ・いじめ防止の取組みについて、地域の方々へ知ってもらいたいと協力依頼を受け、缶バッジを作成し、配付をしました。

青葉区中央市民センターには

- ・缶バッジマシーン2台
- ・モルック3セット
- ・ボッチャ3セット

があります！

連携の
しかた

連携までの流れ(例)



①相談

電話、C4th、
メールでご連絡
ください。

②打合せ

先生方の思いと市民セ
ンターでできることを
すり合わせます。

③授業

学習の中で市民センタ
ー職員が情報提供する
こともできます。

④アイデア

先生方の指導のもと、
こどもたちがアイデア
を考え、まとめます。

⑤打合せ 検討

アイデアの中から実現
できそうなものについ
て検討します。

⑥実現

こどもたちが学んだこ
とを地域に向けて発信
します。

「連携までの流れ」はあくまで一例です。イメージ段階でのご相談でも、ささいなことでも構いません。お時間のある時に気軽にお声がけください。お待ちしております。



お問合せ

こちらからでもご相談
をお受けいたします。

仙台市青葉区まちづくり推進部
青葉区中央市民センター

担当：主査兼社会教育主事

電話番号：022-263-5010

E-mail：aob012150@city.sendai.jp

C4th：「生涯学習支援センター」に担当者が登録されています。

